

学校教育目標		自ら学び、たくましく生きる、 人間性豊かな子どもを育てる。		重点目標	思考力・判断力・表現力の育成 思いやりの心の育成			
評価計画				自己評価		学校関係者評価		改善計画
重点目標	目標達成のための方策(取組指標)	成果指標	評価	結果(成果と課題)		評価	コメント	次年度における改善策(案)
重点的な目標	学力の向上	○笹原タイムの充実(取組内容の例示と授業補助者の確保) ○学力向上プラン ○基礎・基本の徹底(国語・算数)	○市販テストで技能の点数が5%アップ(国算) ○毎月の学年別本の貸し出し調査	3	図書室をよく利用し読み聞かせをし、読書のすそめをすることで読書意欲が高まり読む力もついできている。	A	○繰り返し学習が学力向上につながっていることが分かりました。同じことを子ども達にさせるといのは意外と難しいことです。そこをよよく指導されていると感心しました。 ○読書に関する時間がたくさん設けられていることは、とてもいいことだと思えました。このことによる波及効果がたくさん現れているように感じます。ただ、家庭内での読み聞かせとなると、中・高学年では、取組のやり方を考えないと難しいかもしれません。 ○家庭学習旬間を設けていることは、とてもいいことだと思います。自学の力を身につける機会にもなります。ただ、高学年になってマンネリ化しないかと心配します。 ○書写の宿題を出してほしいと思います。書写は、自分の中で静かな時間が流れ、集中力がつき、前向きに考えるようになります。	○繰り返し学習の改善 ・評価の観点の違いによる適用題 【例】A 23×3を筆算でする B 23×3の計算の仕方を図を使って説明させる C 23×3で求められる問題を作らせる。 ○読み取るワークシートと話し合うワークシートを作成。 ○新聞やレポートへの取組を、各学年の掲示板に貼るなどお互いに参考ができるようにしていく。 【ペアや班での話し合い】 ○自分の考えを伝え合うだけでなく、お互いの考えを取り入れて一つの意見にまとめる活動などを取り入れる。 【全体での話し合い】 ○考えの根拠を出し合う交流活動を繰り返し行う。 「多様な考えの共通点を見いだす」「異なる見方や考え方を統合する」等の交流の方向性を明確にして、自他の考えを高め合うという交流活動を仕組む。
	言語活動を通した思考力・表現力の育成とワークシートを活用した自力学習の育成(国語)	○自分で学習を進める学習の手引きの作成とワークシートを通した学習 ○系統性をもとにした説明文指導の読みの視点の位置づけ(読みの)視点の明確化	○市売テストで読解力の数値が3ポイント以上向上 ○授業の後の協議で、児童の表現の確かさを評価 ○論拠を明確にした発言、発表	3	ワークシートは活用してきたが、自分で学習を進めるまでにはいたっていない。読解力の市販テストでは、全国平均を10ポイント上回った。 発言の仕方はずいぶん身についてきたが、お互いの意見を取り入れながら高まっていくような交流になっていない。読みの視点を活用して交流活動を学習に位置づけることでねらいにせまる話し合い活動ができた。			
	家庭学習の習慣定着	○各教科で言語活動の導入を図り、書く活動・交流活動・プレゼンづくりなど	○交流活動・プレゼン・新聞・レポートに学習したことが表現されているか分析	3	国語・社会では新聞やレポート作りを取り入れてきた。国語・理科・算数では交流活動を中心に取り入れた。書いたものを互いに発表し合って交流することで考えに広がりや深まりが見られるようになってきている。			
	家庭学習のノート	○家庭学習旬間を設け、家庭学習ノートの記入を徹底させる。 ・新聞記事に関するコメント	・家庭学習ノートの点検と家庭学習の定着率の向上 内容の工夫80%の児童に数値を達成させる	4	毎日宿題チェックを行い、不十分な時にはやり直しをさせ、家庭学習の定着を図った。宿題だけでなく自主的に家庭学習をしようとする児童が増えた。特に予習をする児童も見られるようになり、意識が高まってきた。			
思いやりの心・徳	思いやりがあり誇りをもち児童の育成	○道徳教育の充実 賞賛のある学級作り、学級のきまりを守ることの徹底 ○いじめのない学校作り(生活アンケートのチェック、いじめチェックリストのチェック、面談等の実施)	○振り返りカード等のチェック ○35・36時間の授業時間の確保	3	道徳コーナーを活用したことで、「あいさつ」「思いやりの心」「友情」「愛校心」への意識の高まりが見られた。	A	○言葉遣いや挨拶は、学校だけでなく、家庭での習慣等が重要であると思います。 ○今年度は、天の原小学校の開校を目前にして、今まで以上に愛校心への意識が高まったと思います。 ○先日の講演会のお話にもありましたように、群れ遊びの少ない世の中です。なので、このように道徳への指導に力を注いでいただいたのは、とてもありがたいと思いました。	○道徳の時間の充実(授業改善) ・公開授業を活用した情報交換 ・教材・教具の財産化 ・地域人材・題材の活用 ○道徳コーナーの充実・継続 ○全校朝会等、機会がある毎に指導・評価する。 ○自尊感情を高めるための人權学習の取組 ○言葉遣いについては、家庭と連携しながら繰り返し指導が必要。 ○相手を大事にするという観点から、相手の話をしっかり聞く態度のさらなる育成
	自己存在感を高める授業づくり	○生活アンケートの自尊感情項目で1.0を目指す	○生活アンケートの自尊感情項目で1.0を目指す	3	帰りの会で互いのよさに目を向けた活動を取り入れたのが効果的だった。			
	丁寧な言葉遣いをする。あいさつの徹底	○各学級で一日のめあてにかかげ、帰りの会で振り返り9割達成をめざす。	○各学級で一日のめあてにかかげ、帰りの会で振り返り9割達成をめざす。	3	職員室への入り方・あいさつの仕方等大変よくなってきた。ほめて育てよう意識してしている。			
	ソーシャルスキルトレーニングの充実	○月1回の学級活動の時間の充実	○月1回の学級活動の実施	3	対人関係の体験学習を通して、学校生活に意欲的な態度が見られるようになってきた。			
	6年生の掃除リーダー活動を実施する	○自尊感情意識調査の平均以上を目指す	○自尊感情意識調査の平均以上を目指す	3	高学年リーダーに毎時間みんなで感謝の言葉をかけ上級生としての自覚を持たせた。			
	外遊びの励行	○休み時間での遊びの励行、学級遊びの工夫	○9割以上の児童が運動場で遊ぶようになる	3	委員会などの仕事がないときは、だいたい外で遊んでいる。男女仲良くドッジボールをしたり、ひまわり合戦をする姿が見られた。			
健全な身体	食に関する指導	○給食等で好き嫌いをしない重要性の具体的指導。 手作り弁当の推進(高学年)	○給食週間・学級指導等でのアンケートにより8割以上をめざす。	3	給食時間に具体的な指導(食器の配膳の位置・持って食べる等)ができた。苦手な食材でも感謝の気持ちを持って食べるようになってきている。	A	○工事の影響で教育活動がスムーズに行かないことがあり大変だったと思います。 ○静かに食べる時間があることは、とてもいいことだと思います。かむことに集中できるのでよくかんで食べることができそうです。 ○体育館が使用できないのに、準備運動の時に体力テストで足りなかったところを意識して取り組んだ。	
	体育学習の活性化	○実質的な運動の時間の確保・場の工夫 ○運動能力テストの実施による体力の監視	○運動能力テストの分析(昨年度より向上していること)	3	体力テストの結果を意識しながら授業作りを行った。			

◇ 評価について
 ・【自己評価】 4：目標達成(90%以上) 3：ほぼ達成(70%~90%) 2：もう少し(60%~70%) 1：できていない(60%未満)
 ・【学校関係者評価】 A：自己評価は適切である B：自己評価はほぼ適切である C：自己評価はあまり適切でない D：自己評価は不適切である

平成24年度 学校評価報告書

評価計画			自己評価		学校関係者評価		改善計画				
領域	評価の観点	評価指標 (①取組指標または②成果指標)	評価	結果 (成果と課題)	評価	コメント	次年度における改善策 (案)				
総	教育課程・学習指導	○年間指導計画や週案の作成 ○指導構造の工夫改善	3	年間カリキュラムに則り実施ができた各教科とも必ず「めあて」「まとめ」を書く板書を意識してきた。算数の学力が全国を下回る項目がある。放課後がなかなか時間がとれず十分な指導はできていない。子ども達は本当に読書が好きである。読書では、年間200冊を超える児童も多く、本に親しませることができた。休み時間や放課後の補充指導で計算力を付けることができた。	A	○目的意識をもって取り組まれているのは、いいことだと思います。 ○教育指導計画に従って、計画的に指導して頂いているのがよく分かった。 ○読書好きな子供が多いということ、とても素晴らしいことだと思います。	○週案の徹底 ○授業の改善を図る。 ・単元全体で、何を習得・活用させるのを明らかにする。 【算数：活用の学習過程の例】 めあて：「～のわけを説明しよう」等思考や言語活動を重視する。 ○ESDの推進を計画的に実施している。地域の環境にも恵まれ、内容も充実しているのでより改善していきたい。				
		○総合学習・生活科の充実 (伝えるを重点) ○読書活動の充実 ○個に応じた指導の工夫						・作成状況 ・移行措置内容の把握と指導 ・計画的な板書計画 ※めあて、まとめの板書実施 ・国語、算数の総合学力値の全国平均の達成努力 ・相手意識や目的意識を明確にした実践 ・1.0.0冊読書推進 ・放課後の補充指導			
		○いじめ・不登校への組織的対応 ○問題行動への対応 ○積極的な生徒指導の推進						・生活アンケートの実施と教育相談の取組 ・報告、連絡、相談の迅速化 ・家庭や関係機関への対応 ・授業を中心にした子どもの人間関係づくりの充実化	○先生方で情報の共有化が図られていることは、とてもよいことだと思います。 ○保護者と学ぶ規範意識育成事業の研修会がとてもよかったです。	○学習規律の徹底など、学級学校の決まりを守ることの意義を教える。 ○積極的な生徒指導を展開する。 ○生活アンケートの実施・分析 ○CSSなどを年間計画に入れ込む。	
括	生徒指導	○いじめ・不登校への組織的対応 ○問題行動への対応 ○積極的な生徒指導の推進	3	アンケートをもとにした教育相談で子どもの思いをつかむことができた。家庭との連絡をもっと密にしていく必要がある。問題があると共通理解をして対応できた。生活アンケートが日頃の児童観察等ではじめがないように配慮した。	A	○先生方で情報の共有化が図られていることは、とてもよいことだと思います。 ○保護者と学ぶ規範意識育成事業の研修会がとてもよかったです。	○学習規律の徹底など、学級学校の決まりを守ることの意義を教える。 ○積極的な生徒指導を展開する。 ○生活アンケートの実施・分析 ○CSSなどを年間計画に入れ込む。				
		○保健管理体制の充実						・児童を対象にした健康管理体制の確立 ・日常の健康観察や疾病予防、校内事故への迅速な対応	健康に関する指導(含予防)を日常的に行うことで自分の体や心の健康に留意させた。校内事故等発生時、全職員・児童・皆協力して迅速な対応ができた。	○お手紙やMボード等で保健室の先生の頑張りが伝わってきました。親にとっても役立つ内容で良かったです。	○日常の点検活動の徹底 ○特に、もと天道小学校の子ども達が施設設備等になれるように配慮していきたい。
		○安全管理						・施設設備の安全点検と改善 ・通学路の安全点検の実施 ・集団登校の円滑な実施	問題が起きたらすぐに対応することができた。交通指導を通して、安全面の確認や集団登校の実態を把握してきた。	○子供に集団登校させる理由をもっと理解させた方がいいのかもしれない。	○日常点検の徹底 ○通学路も広くなり、PTAとともに地域の安全点検等取り組んでいきたい。
的	保健管理	○保健管理体制の充実	3	健康に関する指導(含予防)を日常的に行うことで自分の体や心の健康に留意させた。校内事故等発生時、全職員・児童・皆協力して迅速な対応ができた。	A	○お手紙やMボード等で保健室の先生の頑張りが伝わってきました。親にとっても役立つ内容で良かったです。	○日常の点検活動の徹底 ○特に、もと天道小学校の子ども達が施設設備等になれるように配慮していきたい。				
		○安全管理						・施設設備の安全点検と改善 ・通学路の安全点検の実施 ・集団登校の円滑な実施	問題が起きたらすぐに対応することができた。交通指導を通して、安全面の確認や集団登校の実態を把握してきた。	○子供に集団登校させる理由をもっと理解させた方がいいのかもしれない。	○日常点検の徹底 ○通学路も広くなり、PTAとともに地域の安全点検等取り組んでいきたい。
		○特別支援教育						・個別の指導計画や特別支援計画の作成と実践 ・通常学級の児童との交流学習	交流学級の担任と週案作成の段階から打ち合わせをすることができた。2学年の連絡調整は時間的にきびしいものがある。	○個に応じた指導が適切に行われていると思います。一人一人が大切にされています。	○個別指導計画に合わせた日常の指導の実施 ○さらなる専門機関との連携
な	特別支援教育	○個別の指導	3	交流学級の担任と週案作成の段階から打ち合わせをすることができた。2学年の連絡調整は時間的にきびしいものがある。	A	○個に応じた指導が適切に行われていると思います。一人一人が大切にされています。	○個別指導計画に合わせた日常の指導の実施 ○さらなる専門機関との連携				
		○組織運営						・協働体制の推進 ・終礼や職員会議の充実 ・学校予算の計画的運営 ・サービスの適正化	会議は計画的に行われている。気になる子の情報交換もとり入れるなど内容も充実している。	○様々な調査等先生方も大変ご苦労をされていると感心しました。	○学校再編により、組織も大きく変わる事が予想されるので、細かい面まで共通理解し、運営していかねばならない。
		○研修						・講師招聘の授業研究会の実施 ・学級訪問による授業協議会 ・テーマの日常化の取組 ・校外研修の参加	言語活動を通した思考力・表現力の向上を、国語科のみならず他の教科でも意識してめざしてきた。	○先生方の指導法研究により、確実に結果が出たと思います	○学校運営への参画意識の高揚のための役割意識を明確にする。 ○研修してきたことを他の教師に伝えて広める機会を作る。
評	教育目標・学校評価	○教育目標の設定 ○自己評価の実施 ○学校関係者評価	3	平成23年度の改善計画にのっとり、具体的手立てを考え実践してきた。重点目標は妥当であった。知・徳・体のそれぞれの担当者が課題をしつかりと把握し、職員に提案し、取組を工夫できた。	A	○学校関係者評価委員会での資料提示・担当の先生方の取組に対する分かりやすい説明があり、説明責任がきちんと果たされていると思います。	○学力の向上が学校としては大事な命題ではあるが、心の育成と体力の向上もバランスのとれた教育をする上からも大事。 ○学校関係者評価委員会でのより分かりやすい資料の提示に心がけたい。				
		○情報提供						・学校行事等への参加状況 ・地域や保護者への学校公開の行事 ・ホームページの活用	Mボード・学級だより・学校だより等で、学校の日常的な取組について紹介していた。	○Mボードはとても楽しみにしています。 ○開かれた学校作りをして頂けると親も安心です。	○Mボードの出し方をもう少し増やすようにしたい。 ○新年度より緊急メール発信の活用を保護者に推進したい。
		○保護者・地域住民等との連携						・学校行事等への参加状況 ・地域人材、教育資源の活用 ・PTAや地域団体との連絡の充実	PTA総会への参加が依然として少ない。学校行事・PTA行事等、地域の方々にも積極的に助けて頂いた。	○参加が少ないのは、保護者の意識の問題が大きいと思います。	○地域の活動と学校とのあり方を融合性を図りたい。
価	情報提供	○学校公開	3	Mボード・学級だより・学校だより等で、学校の日常的な取組について紹介していた。	A	○Mボードはとても楽しみにしています。 ○開かれた学校作りをして頂けると親も安心です。	○Mボードの出し方をもう少し増やすようにしたい。 ○新年度より緊急メール発信の活用を保護者に推進したい。				
		○保護者・地域住民等との連携						・学校行事等への参加状況 ・地域人材、教育資源の活用 ・PTAや地域団体との連絡の充実	PTA総会への参加が依然として少ない。学校行事・PTA行事等、地域の方々にも積極的に助けて頂いた。	○参加が少ないのは、保護者の意識の問題が大きいと思います。	○地域の活動と学校とのあり方を融合性を図りたい。
備	教育環境整備	○施設・設備 ○教材・教具等	3	大規模改造にともない、工事が多かったため、いろいろな面で教育活動に支障をきたした。	A	○工事で活動が制限されたと思います。来年に期待したいと思います。	○学校再編で施設が今まで以上に充実されるので、教育活動に十分活用していきたい。				
		○施設・設備 ○教材・教具等						・施設・設備の活用状況 ・安全、維持管理のための取組状況 ・設置者と連携した教材、教具、図書	大規模改造にともない、工事が多かったため、いろいろな面で教育活動に支障をきたした。	○工事で活動が制限されたと思います。来年に期待したいと思います。	○学校再編で施設が今まで以上に充実されるので、教育活動に十分活用していきたい。

◇ 評価について

・【自己評価】	4：目標達成(90%以上)	3：ほぼ達成(70%~90%)	2：もう少し(60%~70%)	1：できていない(60%未満)
・【学校関係者評価】	A：自己評価は適切である	B：自己評価はほぼ適切である	C：自己評価はあまり適切でない	D：自己評価は不適切である